

メルコホールディングス株式会社情報 (2009年3月31日現在)

決算日 3月31日

定時株主総会 6月

株主確定基準日 議決権行使株主 3月31日
期末配当金受領株主 3月31日
中間配当金受領株主 9月30日

上場証券取引所 東証・名証一部

証券コード 6676

発行済株式数 22,237,873株 (自己株式控除後 22,215,480株)

株主数 10,547名 (2009年3月31日現在)

1単元の株式数 100株

公告の方法 電子公告 <http://melco-hd.jp/koukoku/>

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店
◎株式に関するお手続きについてご不明な点、確認したい点などがある場合は、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
TEL 0120-232-711
(土・日・祝祭日を除く9:00から17:00通話料無料)
◎株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っています。
TEL 0120-244-479 (通話料無料)
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

幹事証券会社 (主) 大和証券SMBC
(副) 野村證券、みずほインベスターズ証券、日興コーディアル証券

株式会社 **メルコホールディングス**

本社 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-1551 (代) FAX 052-619-1800
<http://melco-hd.jp/> (証券コード6676)

株式会社 **バッファロー**

本社 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-1811 (代) FAX 052-619-1800
東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2茅場町タワー TEL 03-3523-3333 (代) FAX 03-3523-3300
<http://buffalo.jp/>



Business Report 2009

2008.4.1-2009.3.31

メルコグループ

飛躍的な需要拡大に備えて、さらなる競争力強化を。

■ 厳しい市場環境に対応し、企業体質を強化。

私たちメルコグループは、株式会社バッファローを中核としたパソコン周辺機器の総合メーカーです。多くの製品が高い店頭シェアを誇り、株式会社バッファローの製品が10部門、シー・エフ・デー販売株式会社の製品が1部門、株式会社バッファローコヨサプライの製品が3部門で、シェアNo.1を獲得しています（BCNランキング2008年1月～2008年12月データより）。

当期の日本経済では、世界的な金融市場の混乱によって急激な株価下落や円高が進みました。メルコグループにとって関係の深いパソコン関連業界は、UMPC（ネットブック）と呼ばれる小型のノートパソコンの新規需要により、個人向けの需要は前期並みを保つことができましたが、法人向けは景気減退の影響を受け、需要が鈍りました。

このような厳しい市場環境の中で、メルコグループは、製品戦略の強化、原価低減、経費削減などの努力を重ねました。その結果、第4四半期においては回復傾向に転じさせることができましたが、通期においては売上高1,202億76百万円（前期比13.8%減）、営業利益21億32百万円（同59.3%減）、経常利益22億58百万円（同58.5%減）、当期純利益7億7百万円（同80.4%減）と、前期を下回る結果となりました。



株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長 牧 誠

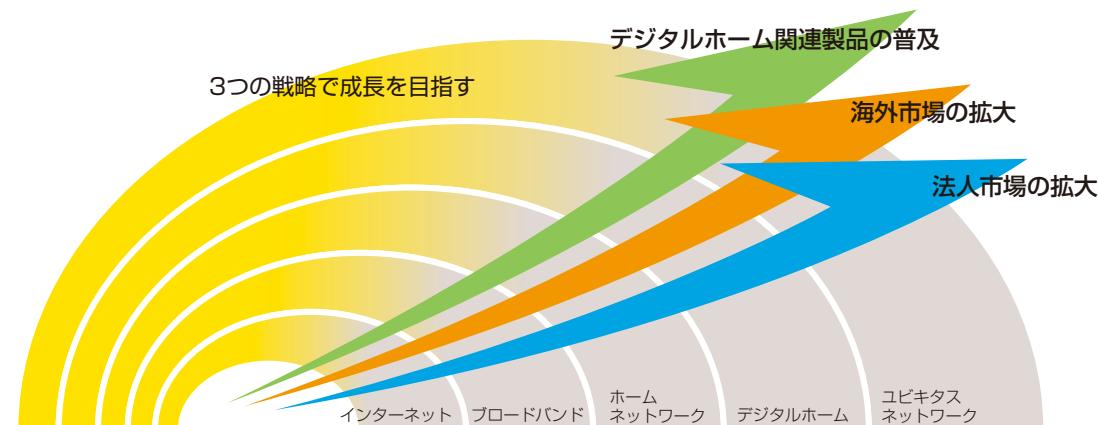
写真：朝日新聞提供

■ デジタルライフ、もっと快適に。

日本の景気回復はすぐには見込めず、次期においても厳しい経済環境が続くものと思われます。しかし一方で、ホームネットワークの普及に伴い、デジタル家電の周辺機器市場という新たな市場も顕在化してきました。ゲーム機、テレビ、携帯電話など、インターネット接続家電が続々と登場しています。2011年には、地デジ完全移行も控えています。

その中でメルコグループは、パソコン周辺機器の総合メーカーとしての実績を活かし、人々の豊かなデジタルライフを実現する多彩な製品やソリューションを提供していきたいと考えています。大きく成長の見込まれるブロードバンド関連市場やデジタルホーム市場へ積極的に対応すると同時に、海外市場の開拓、法人市場の攻略に引き続き注力していきます。これらにより、売上高1,235億円（前期比2.7%増）、営業利益24億円（同12.6%増）、経常利益24億円（同6.3%増）、当期純利益16億円（同126.1%増）を見込んでいます。

このようにメルコグループは、社会の変化を追い風にしながら、さらなる挑戦と経営努力を重ね、今後も成長してまいります。



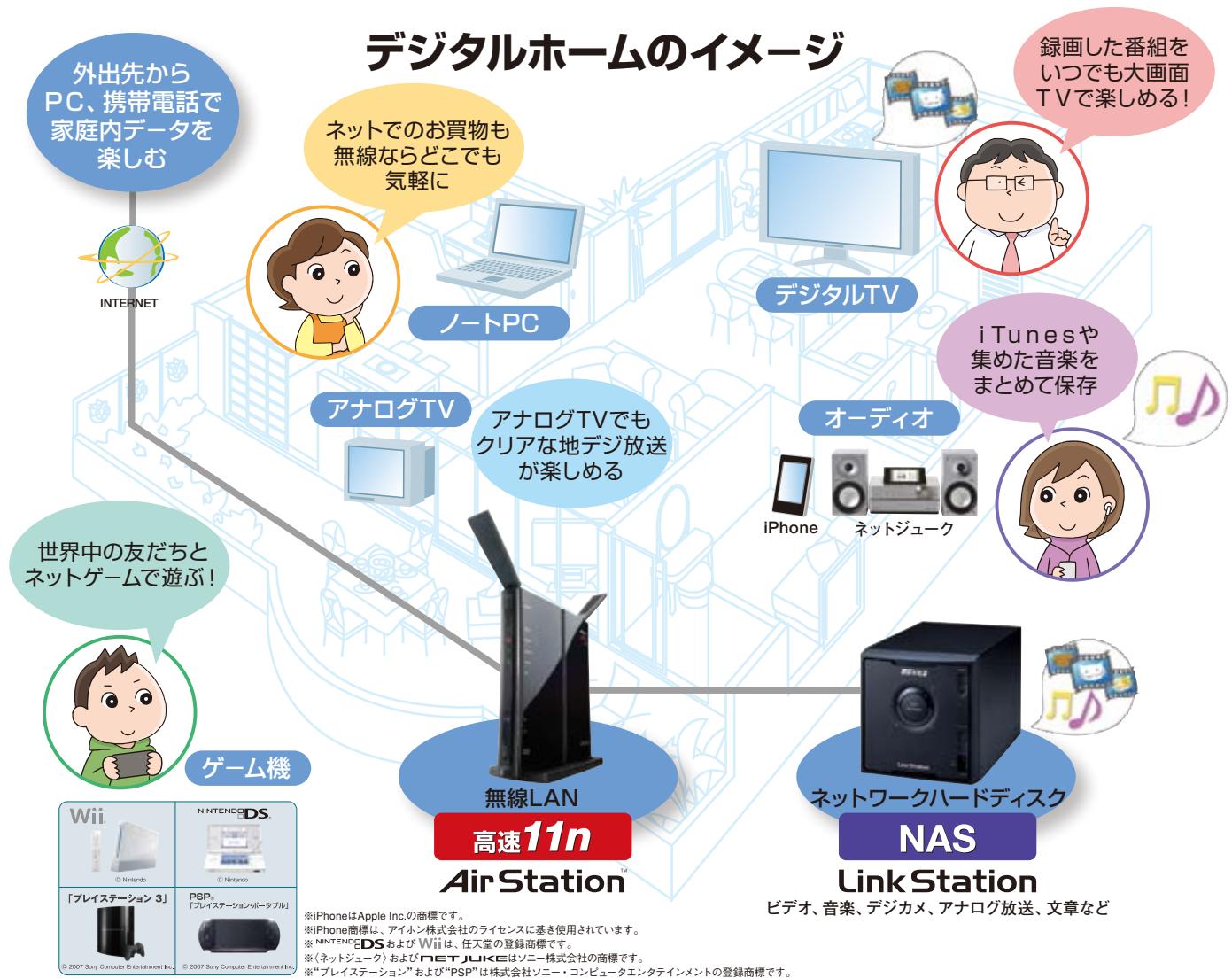
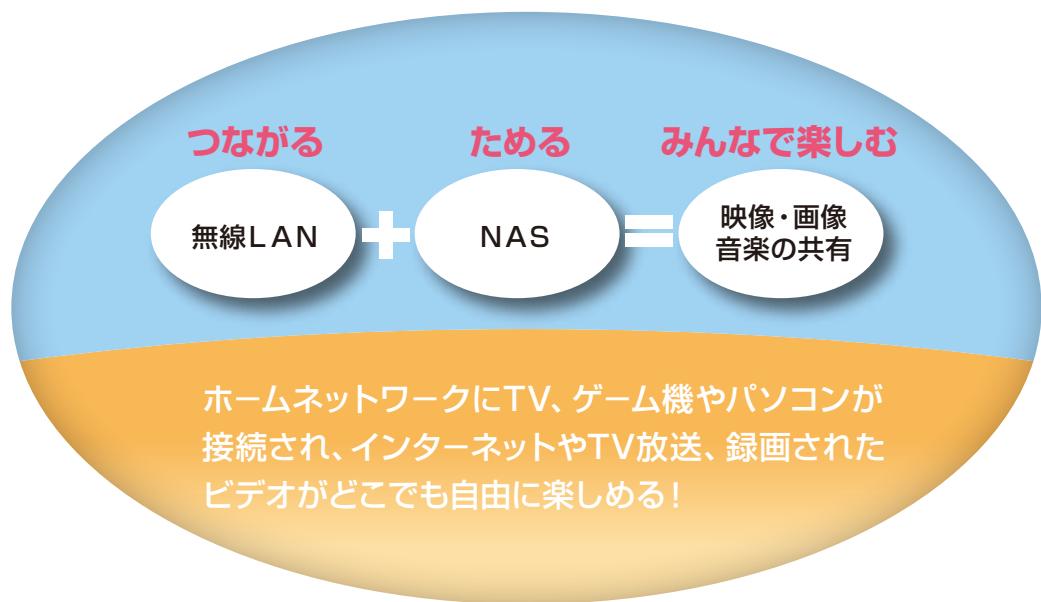


デジタルライフ、もっと快適に。

デジタルホームはいよいよ実用化段階に

アクトビラなど、テレビでインターネットを活用する動きが盛んになってきました。また、テレビ番組をネットワークハードディスクや、ブルーレイディスクレコーダに録画し、それを家の中のあらゆる場所で楽しむこともできるようになりました。

たとえば、リビングのネットワークハードディスクで録画したドラマを、無線LANで2階寝室のテレビに送って楽しむこともできます。もちろんその際、DVDに焼くなどの手間も要りません。DTCP-IPという、ホームネットワーク内で著作権保護を活かしながら利用できる技術を組み込んだ製品も登場し始めました。デジタルホームをもっとわかりやすく、誰にでも使えるようにするために、取り組むべきことはまだまだたくさんあります。しかしもう、デジタルホームは夢でもイメージでもなく、普及が急激に進むと思われる2010年を前に、実際に利用が始まっています。



事業概要

メモリ製品

「メモリモジュール」はパソコンの記憶容量を増加させる製品です。パソコンの記憶容量を増やすと、一度に扱えるプログラムやデータの量が大きくなり、効率良く速く処理することができます。メモリ製品にはそのほかにも、手軽にデータが持ち運べる「USBメモリ」、デジタルカメラで利用する「SDカード」「コンパクトフラッシュ」、携帯電話で利用する「microSDカード」などがあります。



ストレージ製品

ストレージ製品は、ソフトウェアやデータを保存する記憶装置です。「外付けブルーレイドライブ」「外付けDVDドライブ」「外付けHDD（ハードディスク）」「ポータブルHDD」「ネットワークハードディスク（NAS）」などがあります。

■外付けハードディスク

ストレージ製品の売上高の大部分を占める主力製品です。パソコンのデータやデジカメで撮影した写真の保存などに使用します。パソコンで動画を利用する機会が増えていることから、必要な記憶容量も増加傾向にあるため、HDDの増設需要が高まっています。



■NAS

ネットワークに接続して、大容量のデータを複数のパソコンやデジタル家電で共有できるHDDです。ご家庭で気軽に利用できるコンパクトなタイプから、高信頼・高機能のビジネスユースまで、幅広いモデルをラインナップしています。

ネットワーク製品/ブロードバンド

ネットワーク製品の代表的なものには「無線LANアクセスポイント」「有線ブロードバンドルータ」「LAN用ハブ」「LANアダプタ」などがあります。ネットワーク製品を用いることで、複数のパソコンでデータを共有したり、インターネットを利用したりできるようになります。特に「無線LAN」はわずらわしい配線が必要ないため、ホームネットワークでの利用が増えています。最近ではゲーム機での利用も増加し、ますます無線LANの普及がすすんでいます。



その他の製品

■デジタルホーム製品

パソコンや家電製品をネットワークで結ぶ「デジタルホーム」を利用するための製品です。ワンセグ放送をパソコンで手軽に楽しめるワンセグチューナー「ちょいテレ」や、アナログテレビ用地デジチューナー、テレビやビデオカメラをネットワーク対応にするメディアプレーヤなどラインアップがどんどん増加しています。

■サプライ・アクセサリ製品

「マウス」「キーボード」などの入力機器、「Webカメラ」「ヘッドセット」などのマルチメディア機器、「USBケーブル」などの各種ケーブル、「マウスパッド」「バッグ」などのアクセサリといった、パソコンを楽しく、使いやすくする製品群です。

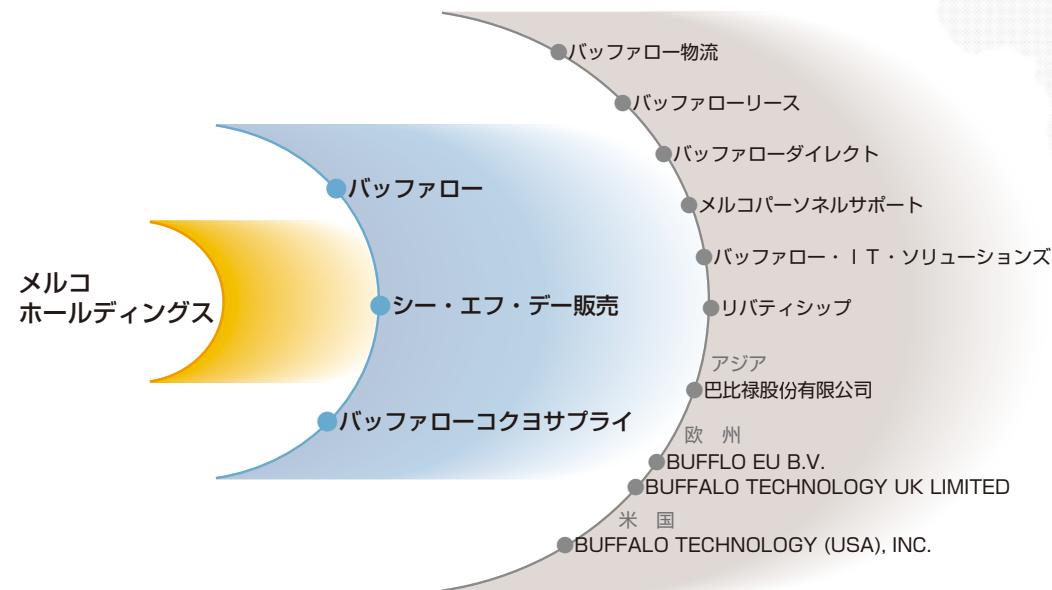
■その他

「液晶ディスプレイ」「DOS/Vパーツ」などの機器類の他、個人向けのパソコン設定サービスや法人向けの設置工事、導入コンサルタントなどのサービスも含まれます。



グループ紹介

メルコグループは、株式会社メルコホールディングスと連結子会社14社により構成されています。パソコン周辺機器の総合メーカーとして、機器の開発から販売、設置・設定・保守サービス、アフターサポートまで、全国の法人・個人を対象に、IT・ネットワーク環境構築に必要な機器・サービスを提供しています。



- 株式会社バッファロー
メルコグループの中核となるブランドメーカー。デジタルホーム市場の成長を促進させる製品を積極的に展開しています。
- シー・エフ・デー販売株式会社
「パソコンパーツの総合サプライヤー」をめざしています。「玄人志向」ブランドを展開。
- 株式会社バッファロー物流
コンピュータ周辺機器の製造、検査、梱包、出荷などを行っています。
- 株式会社バッファローリース
通信キャリアやビデオ配信サービス業者など、機器を配布するサービスのレンタル代行を行っています。
- 株式会社バッファローダイレクト
インターネットを活用し、メルコグループ各社の商品を直販しています。

- 株式会社メルコパーソナルサポート
事務職を一括採用して派遣する人材派遣会社です。主にメルコグループ各社に派遣しています。
- 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ
個人・法人を対象にパソコン設定・ネットワークインフラ構築・保守などのサービスを提供しています。
- 株式会社リバティシッパ
ユーザ同士、ユーザと企業を結び、インターネットによるコミュニケーションサービスを提供しています。
- 株式会社バッファローコクヨサプライ
コンピュータ用の各種アクセサリ、各種接続ケーブル、サプライ品などを開発・製造・販売しています。

Group Companies

メルコグループ

- 株式会社メルコホールディングス 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-1551 (代) FAX 052-619-1800
- 株式会社バッファロー 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-1811 (代) FAX 052-619-1800
- シー・エフ・デー販売株式会社 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-1311 FAX 052-619-7785
- 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-6-3 吉野第一ビル TEL 03-5640-3550 FAX 03-5640-3666
- 株式会社バッファロー物流 〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中倉倉庫内 TEL 052-883-3035 FAX 052-883-3042
- 株式会社バッファローリース 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー TEL 03-3523-3354 FAX 03-3523-3300
- 株式会社バッファローダイレクト 〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中倉倉庫内 TEL 052-882-3302 FAX 052-882-3302
- 株式会社メルコパーソナルサポート 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 TEL 052-619-7224 FAX 052-619-7233
- 株式会社リバティシッパ 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー TEL 03-3523-3368 FAX 03-3523-3300
- 株式会社バッファローコクヨサプライ 〒457-0831 名古屋市南区荒浜町4-6-1 TEL 052-619-7511 FAX 052-619-7555

海外関連会社

- アジア 巴比禄股份有限公司
インターネット関連機器およびコンピュータ周辺機器の製造・販売
7F, No.18, Lane609, Sec.5, Chung Hsin Rd., Sanchung City, Taipei Hsien, TAIWAN
TEL 886-2-2999-9860 FAX 886-2-2999-2264
- 欧州 BUFFLO EU B.V.
欧州統括会社
Polarisavenue 85, 2132 JH Hoofddorp, The Netherlands
TEL 31-23-554-6010 FAX 31-23-554-6019
- BUFFALO TECHNOLOGY UK LIMITED
インターネット関連機器およびコンピュータ周辺機器の販売
2, Bracknell Beeches, Old Bracknell Lane, Bracknell, Berkshire RG12 7BW, United Kingdom
TEL 44-1344-381700(代) FAX 44-1344-381710
- 米国 BUFFALO TECHNOLOGY (USA), INC.
インターネット関連機器およびコンピュータ周辺機器の販売・製造
11100 Metric Boulevard suite 750 Austin Texas 78758
TEL 1-512-794-8533 FAX 1-512-794-8520

メモリの進化を支えるバッファローの技術力

バッファローは電子部品の標準化を推進する組織「JEDEC」に1996年から加盟し、同組織を通じて世界的なメモリモジュール規格の策定に貢献してきました。現在、全世界で使用されているほとんどのノートパソコンに搭載されている世界標準規格に準拠したメモリモジュールには、バッファローの設計が採用されています。今後も次世代の高速メモリモジュール開発に積極的に取り組んでいきます。

ホームネットワークの普及を加速させる「AOSS」

バッファローでは無線LANの接続やセキュリティ設定を、ボタンを押すだけのワンタッチで行えるシステム「AOSS」を独自に開発しました。すでに多くの家電製品に採用されているのははじめ、SONYや任天堂のゲーム機などに搭載されています。

また、「AOSS」で培った技術をベースに、バッファローが提案活動に取り組んできた「プッシュボタン」方式が、Wi-Fiアライアンス(※)が策定した無線LAN簡単設定規格「WPS」に採用されています。このことは、バッファローがワイヤレスホームネットワークの発展を牽引するリーディングカンパニーとして世界に認められた証といえます。

※無線LAN関連製品を製造・販売する企業が集まる業界団体

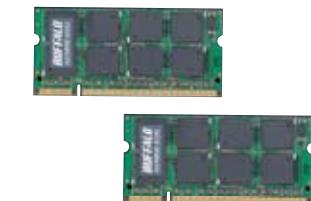
デジタルホーム市場を育成する製品群

2011年の地デジ完全移行を控え、デジタルホームの普及が加速しています。バッファローでは、デジタルホーム市場育成の一環として、パソコンで地上デジタル放送の視聴と録画をできるようにするパソコン用地デジチューナーを販売しています。この製品は「トランスコード機能」を取り入れており、最新のパソコンでなくても性能に合わせて負荷を軽減し、地デジ視聴を可能にします。

また、メディアプレーヤー「リンクシアター」は、ハイビジョンビデオカメラで撮影した映像を、手軽にハイビジョン再生ができ、手持ちのアナログテレビで地デジの視聴/録画やインターネットサービス「アクトビラ」が楽しめます。こうした製品の開発を通して、デジタルホーム市場の育成を進めています。

セキュリティ強化へのニーズに応える製品群

個人情報保護法、会社法、金融商品取引法などにより、保存データのセキュリティ強化は、企業においてますます重要な課題となっています。また、データのトレーサビリティ(追跡調査を可能にする)を確保するために、保存データそのものも増大しています。そのため、さまざまな記憶装置製品の需要が高まると同時に、高度な暗号化技術など、新たな技術ニーズが高まっています。バッファローでは、データを強制的に暗号化して保存する機能を備えたUSBフラッシュメモリや、指紋による本人認証に対応したUSBフラッシュメモリ、企業オリジナルのセキュリティ設定が可能なUSBメモリ用管理ソフトウェアなど、セキュリティ強化のニーズに応えるさまざまな製品を販売しています。



フルハイビジョン対応LT-H90WN



「SecureLock Manager」設定画面

広い家でも快適に利用できる無線LANセット

無線LANの高速化規格「Draft2.0 11n」に対応した無線LANブロードバンドルータを2009年4月に発売しました。この製品の特徴は、強力な電波出力です。既存の11n無線LAN親機を超える高速通信を実現し、ハイビジョンも快適に視聴できます。

また、USBハードディスクポートを搭載しており、簡単にUSBハードディスク、USBメモリーをホームサーバにすることができます。

CardBus用ハイパワー無線LAN子機、USB2.0用ハイパワー無線LAN子機、LAN端子用無線LAN子機を組み合わせたセットモデルも販売しています。これらの無線LAN子機により、パソコンやデジタル家電を無線LAN環境に接続することができます。ハイパワーなので、大型の一戸建て住宅でも快適に利用することが特徴です。

光沢感が特徴のポータブルHDDを発売

流れるようなボディラインと光沢感が特徴の「つやスリム」デザインを採用したポータブルHDDを2009年3月に発売しました。ミニノートの使用に便利なサイズで携帯性に優れています。3色のカラーバリエーションを用意しました。

この製品はミニノートのバッテリー消費を抑える「ecoマネージャー」に対応しています。HDDへのアクセスが一定時間無い場合、ディスクの回転を停止するため、バッテリーの無駄な消費を減らせることができ、より長時間の利用が行えます。

地上デジタルチューナーを発売

地デジに移行したいけど、手持ちのアナログテレビは買い替えたくない、という方のために、バッファローではアナログテレビで地上デジタル放送が楽しめる地上デジタルチューナーを2008年11月に発売しました。

字幕放送や番組表など、地デジならではの機能に対応しています。テレビとチューナーの接続もケーブル1本と簡単です。また「ズーム機能」と「スクイーズ出力」対応で、従来からの4:3のテレビも、16:9のワイドテレビも、フル画面で地デジが楽しめます。



CardBus用ハイパワー無線LAN子機
USB2.0用ハイパワー無線LAN子機
LAN端子用無線LAN子機



「ポータブルHDD」HD-PEU2シリーズ



アナログテレビ用地上デジタルチューナー

SNS「CoDE (コード)」内で「地デジ感度MAP」開設

株式会社リパティシップは、ユーザ参加によるコミュニケーションサイト「ZQwoonet (じくうねっと)」の新サービスとして、SNS (ソーシャルネットワークワーキングサービス)「CoDE (コード)」を2008年3月からスタートしています。

CoDEは、ユーザのパソコン、周辺機器、ゲーム機などを「アイテム」として登録・公開してもらうことにより、同じものを持つ人同士、同じものに興味を持つ人同士のコミュニケーションを主体としています。また、製品レビューや体験談を投稿できる写真レポートのコーナーも用意しています。

2008年6月には、地デジの受信感度地図情報「地デジ感度MAP」を開設し、パソコンユーザだけでなく、地デジ導入を考えている幅広いユーザへのお役立ち情報を提供しています。リパティシップはこれからもCoDEを通して、ユーザ参加コミュニケーションのさらなる進化をめざしていきます。



PCユーザが集うSNS、CoDE

欧州統括拠点の設置

急速に拡大するヨーロッパのビジネスの統括を英国からオランダに移し、これまで以上にヨーロッパ各域を包括的に把握し、ビジネスの統括と販路の開拓を進めます。



欧州統括拠点外観

ドバイに販売会社を合併で設立

経済成長の著しい中東地区での販売強化のため、2008年7月、現地資本との共同出資にてBUFFALO ADVANTEC FZCOを設立しました。



ドバイ

現地販売店視察

社会貢献活動

「未踏ソフトウェア創造事業」

IPA (独立行政法人 情報処理推進機構) では「未踏ソフトウェア創造事業」というIT人材発掘・育成事業を行っています。この事業は、次世代のIT市場創出を担う独創性と優れた能力を持つ研究者を積極的に発掘するとともに、開発に専念できる環境を整備することで、新市場を切り開くソフトウェアの開発支援を行うもの。メルコグループは、この事業におけるプロジェクト管理組織という役割を担っています。

2008年上期に支援した「未踏コース」(若手開発者対象)のプロジェクトでは、IPAがその年に特に優れた開発者を選ぶ「スーパークリエイタ」も誕生しました。



「財団法人メルコ学術振興財団」

メルコグループは創業30周年を記念する社会貢献事業として「財団法人メルコ学術振興財団」を2007年に設立しました。この財団は、日本の管理会計実務に関する研究への助成などを通じて、管理会計学の発展と普及、さらにはわが国の学術・文化の発展に寄与することを目的としています。

2008年度は「日本的管理会計のコア・エレメントと共進化」など、16名の研究者に助成を実施しました。管理会計の重要性がさらに高まりつつある中、この成果は広く社会に還元されていくものと期待しています。



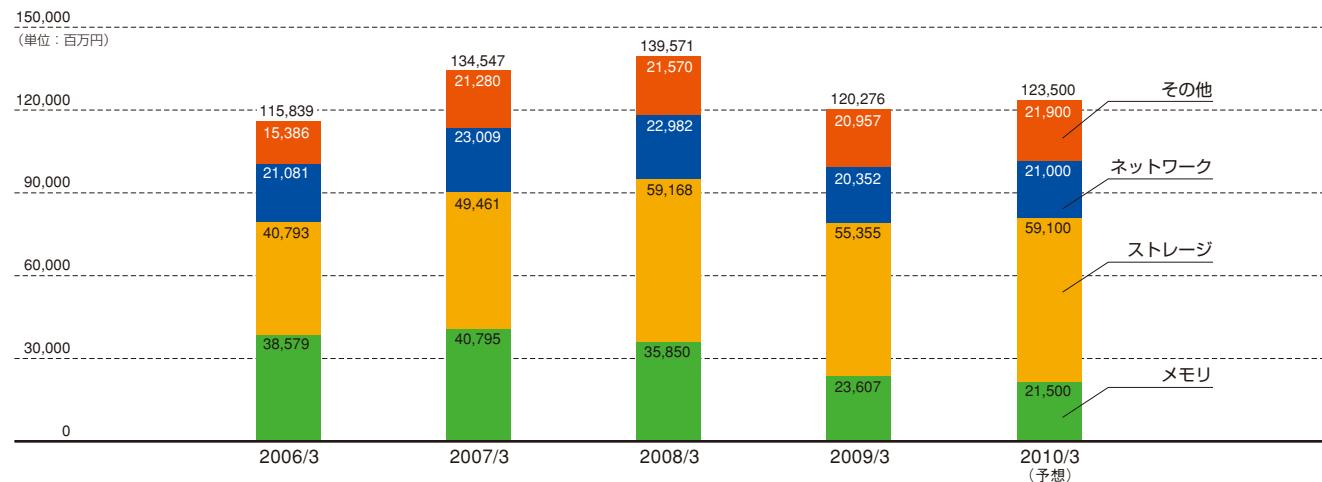
メモリ製品

新規に販売されるパソコンの初期搭載メモリ容量が増加したことにより、追加増設の需要が減少し、パソコン用メモリモジュールの売上高は、前期比37.1%減の146億53百万円となりました。また、USBなどのフラッシュメモリ製品は、競争が激化する中、数量では17.9%の増加となりましたが、売上金額は前期比28.7%減の89億54百万円となりました。

ネットワーク製品

ゲーム機やプリンタなど、無線LANを利用する機器が増加し、ネットワーク製品の普及が進みました。一方で製品価格の下落が激しく、台数では前期比6.8%の伸びを示しましたが、売上高は前期比11.4%減の203億52百万円となりました。

連結売上高



ストレージ製品

ハードディスク製品は、台数ベースでは年率22.0%の成長を続けましたが、価格競争に陥ったことにより、売上金額は前期比5.6%減の420億65百万円となりました。その中でポータブルDVDドライブはUMPC（ネットブック）の好影響を受け、売上高を伸ばしました。また、ネットワークハードディスク（NAS）についても、台数は前期比で22.9%増加したものの、売上高は前期比8.9%減の132億90百万円となりました。

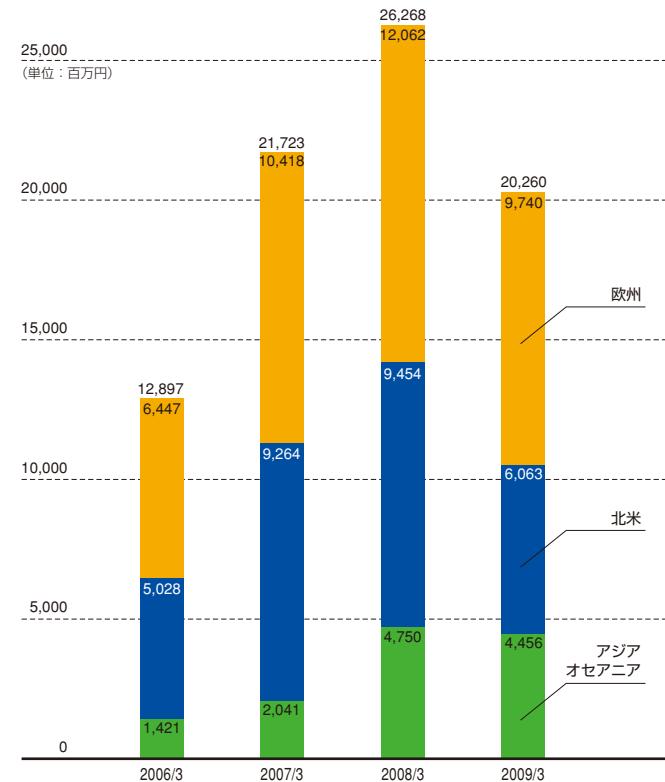
その他の製品

デジタルホーム製品の売上高は、地デジ完全移行に向けての本格的な普及を前にやや足踏みし、前期比19.3%減の34億18百万円となりました。サプライ・アクセサリ製品は、各製品が少しずつシェアを伸ばしたことなどにより、前期比22.3%増の93億55百万円となりました。液晶ディスプレイは前期比23.4%減、DOS/Vパーツは前期比7.8%減、サービス関連の売上高は前期比13.0%減となりました。

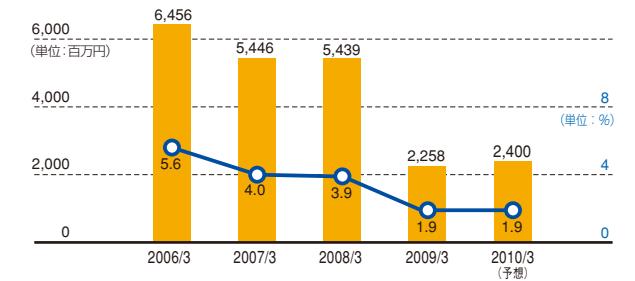
海外の売上

世界的な景気減退や円高の影響により、海外子会社とバッファローの直接の輸出を合わせた海外売上高は、前年比22.9%減の202億60百万円となりました。次期の海外売上高は、ネットワークハードディスク「TeraStation」の販路拡大や外付けハードディスクのコストダウンによる競争力強化などを進めることで、27.3%増の258億円を見込んでいます。

海外売上推移



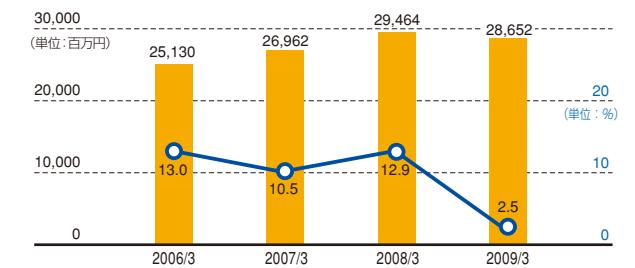
連結経常利益と連結売上高経常利益率



連結当期純利益と連結売上高当期純利益率



連結株主資本と連結株主資本当期純利益率



(見通しに関するご注意) 上記の業績予測は現時点で得られる情報に基づいて算定されたものであり、多分に不確実な要素を含んでいます。従って、実際の業績は業況の変化により業績予測と異なる場合があります。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 区分 | 当期 | 前期 |
|-----------------|---------------|---------------|
| | 平成21年3月31日現在 | 平成20年3月31日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 46,345 | 52,040 |
| 固定資産 | 5,735 | 5,726 |
| 有形固定資産 | 1,487 | 1,846 |
| 無形固定資産 | 2,699 | 2,204 |
| 投資その他の資産 | 1,549 | 1,674 |
| 資産合計 | 52,080 | 57,766 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 21,467 | 25,568 |
| 固定負債 | 1,960 | 2,733 |
| 負債合計 | 23,427 | 28,301 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000 | 1,000 |
| 資本剰余金 | 774 | 1,927 |
| 利益剰余金 | 26,810 | 26,881 |
| 自己株式 | △57 | △637 |
| 株主資本合計 | 28,527 | 29,172 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5 | 275 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | 8 |
| 為替換算調整勘定 | △290 | △159 |
| 評価・換算差額等合計 | △285 | 123 |
| 新株予約権 | 4 | 2 |
| 少数株主持分 | 405 | 165 |
| 純資産合計 | 28,652 | 29,464 |
| 負債・純資産合計 | 52,080 | 57,766 |

連結損益計算書

(単位:百万円)

| 区分 | 当期 | 前期 |
|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日 | 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日 |
| 売上高 | 120,276 | 139,571 |
| 売上原価 | 102,194 | 117,646 |
| 販売費及び一般管理費 | 15,949 | 16,693 |
| 営業利益 | 2,132 | 5,232 |
| 営業外収益 | 196 | 350 |
| 営業外費用 | 69 | 143 |
| 経常利益 | 2,258 | 5,439 |
| 特別利益 | 313 | 194 |
| 特別損失 | 854 | 136 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,717 | 5,496 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 315 | 2,814 |
| 過年度法人税等 | - | △242 |
| 法人税等調整額 | 533 | △396 |
| 少数株主利益及び少数株主損失(△) | 161 | △293 |
| 当期純利益 | 707 | 3,615 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 区分 | 当期 | 前期 |
|----------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日 | 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,164 | 3,520 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,155 | 2,072 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,440 | △1,114 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △95 | △29 |
| 現金及び現金同等物の増減額(減少は△) | 472 | 4,448 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 12,428 | 7,979 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 12,900 | 12,428 |

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

(単位:百万円)

| 区分 | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | | 新株 予約権 | 少数株主 持分 | 純資産 合計 |
|---------------------|----------|---------------|------------|------------|-------------|----------------------|-----------------|--------------|----------------|-----------|------------|-------------|
| | 資本金 | 資本 剰余金 | 利益 剰余金 | 自己 株式 | 株主資本 合計 | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延 ヘッジ 損益 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | | | |
| 前期末残高 | 1,000 | 1,927 | 26,881 | △637 | 29,172 | 275 | 8 | △159 | 123 | 2 | 165 | 29,464 |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減 | | | △5 | | △5 | | | | | | | △5 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △774 | | △774 | | | | | | | △774 |
| 当期純利益 | | | 707 | | 707 | | | | | | | 707 |
| 自己株式の取得 | | | | △573 | △573 | | | | | | | △573 |
| 自己株式の処分 | | △0 | | 1 | 0 | | | | | | | 0 |
| 自己株式の消却 | | △1,151 | | 1,151 | - | | | | | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | △269 | △8 | △130 | △408 | 1 | 239 | △167 |
| 当期変動額合計 | - | △1,152 | △66 | 579 | △639 | △269 | △8 | △130 | △408 | 1 | 239 | △806 |
| 当期末残高 | 1,000 | 774 | 26,810 | △57 | 28,527 | 5 | 0 | △290 | △285 | 4 | 405 | 28,652 |

前連結会計年度(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

(単位:百万円)

| 区分 | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | | 新株 予約権 | 少数株主 持分 | 純資産 合計 |
|---------------------|----------|-----------|--------------|-------------|--------------|----------------------|-----------------|--------------|----------------|-----------|------------|--------------|
| | 資本金 | 資本 剰余金 | 利益 剰余金 | 自己 株式 | 株主資本 合計 | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延 ヘッジ 損益 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | | | |
| 前期末残高 | 1,000 | 1,927 | 23,959 | △21 | 26,866 | 259 | - | △163 | 95 | 1 | - | 26,962 |
| 在外子会社の会計処理の変更に伴う増減 | | | - | | - | | | | | | | - |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △693 | | △693 | | | | | | | △693 |
| 当期純利益 | | | 3,615 | | 3,615 | | | | | | | 3,615 |
| 自己株式の取得 | | | | △616 | △616 | | | | | | | △616 |
| 自己株式の処分 | | △0 | | 0 | 0 | | | | | | | 0 |
| 自己株式の消却 | | - | | - | - | | | | | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | 15 | 8 | 4 | 28 | 1 | 165 | 195 |
| 当期変動額合計 | - | △0 | 2,922 | △616 | 2,305 | 15 | 8 | 4 | 28 | 1 | 165 | 2,501 |
| 当期末残高 | 1,000 | 1,927 | 26,881 | △637 | 29,172 | 275 | 8 | △159 | 123 | 2 | 165 | 29,464 |



社名の由来

「メルコ」は「牧技術研究所」を意味しています

「MELCO」のMは創業者でメルコホールディングスの代表取締役社長である牧誠の姓、Eは技術力の「Engineering」、Lは研究所の「Laboratory」、COは会社の「Company」の頭文字をとり、創業の1975年以来、社名として使用しています。

「バッファロー」はパソコン周辺機器の「プリンタバッファ」に由来しています。

メルコが1982年に発売した内蔵型プリンタバッファは、印刷中でもパソコンが使える周辺機器として大ヒット製品となり、当社躍進の基盤となりました。その後、当社製品のブランド名を一般公募し、採用されたのが「BUFFALO」です。プリンタバッファを猛牛の「バッファロー」に重ね合わせ、たくましく成長する当社のイメージを表現するブランド名として採用されました。

メルコグループのあゆみ

- 1975年 5月 ●音響機器製品の製造・販売を目的としてメルコを創業
- 1978年 8月 ●メルコを株式会社とし、(株)メルコ(現(株)バッファロー)を設立
- 1981年 7月 ●パソコン周辺機器市場へ本格参入
- 1982年 11月 ●プリンタ内蔵型のプリンタバッファを発売
- 1986年 7月 ●名古屋市天白区に(有)バッファロー(現(株)メルコホールディングス)を設立
- 1988年 10月 ●わが国初のEMS ボード(メモリ)を発売
- 1991年 10月 ●(株)メルコ(現(株)バッファロー)が日本証券業協会へ店頭登録
- 1992年 1月 ●名古屋市南区に技術開発拠点「ハイテクセンター」(現(株)バッファロー本社)を開設
- 1992年 8月 ●LANを発売
- 1994年 2月 ●ハードディスクを発売 パソコン周辺機器の総合メーカーへ
- 1995年 1月 ●(株)メルコが名古屋証券取引所市場第二部に株式を上場
- 8月 ●(株)メルコが東京証券取引所市場第二部に株式を上場
- 1995年 9月 ●(株)メルコが品質保証の国際規格ISO9001の認証を取得
- 1996年 9月 ●(株)メルコが東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場
- 1999年 1月 ●無線LAN市場に参入、「AIRCONNECT」を発売
- 2000年 10月 ●DDR 対応ノートパソコン用メモリの世界標準規格を開発
- 2001年 1月 ●(株)メルコが環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得
- 2003年 5月 ●(株)バッファローが(株)メルコホールディングスに商号変更、名古屋市中区に本店を移転
- 10月 ●(株)メルコが(株)バッファローに商号変更、名古屋市中区に本店を移転
- 10月 ●(株)メルコホールディングスと(株)バッファローが株式を交換 持株会社体制に移行
- 10月 ●(株)メルコホールディングスが東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部に株式を上場
- 2004年 1月 ●デジタルホームソリューションズ事業部を新設
- 2005年 3月 ●NTT 東西の「オンデマンドTV」に専用セットトップボックスの供給を開始
- 7月 ●(株)バッファローが名古屋市中区に「テクニカルサービスセンター」を開設
- 2007年 4月 ●(株)メルコホールディングスが(株)アーベルを子会社化
- 5月 ●(株)エム・ティー・エスが(株)バッファロー・IT・ソリューションズに商号変更
- 8月 ●(株)アーベルが(株)バッファロー・IT・ソリューションズに商号変更
- 2008年 4月 ●バッファローEU B.V.を設立
- 2009年 3月 ●(株)メルコホールディングス本社事務所を名古屋市中区に移転

株式会社メルコホールディングス

商号 株式会社メルコホールディングス
(英文表記) MELCO HOLDINGS INC.

設立 1986年(昭和61年)7月1日

資本金 10億円

事業内容 メルコグループの純粋持株会社
傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援・経営指導を通じて統括管理を行う。

従業員数 63名、メルコグループ連結893名

グループ企業 会社数14社(国内9社・海外5社)

役員 (2009年6月26日現在)

代表取締役社長 牧 誠

専務取締役 齊木 邦明

取締役 山口 英利

取締役 松尾 民男

取締役 李 洋憲

取締役 牧 廣美

取締役 津坂 巖

常勤監査役 牧 博道

監査役 西川 俊男

監査役 川島 讓

監査役 隅 朝恒

株式会社バッファロー

商号 株式会社バッファロー

創業 1975年(昭和50年)5月1日

設立 1978年(昭和53年)8月5日

資本金 3億2千万円

事業内容 パソコン・ブロードバンド関連機器の開発・製造・販売および
関連サービスの提供

従業員数 444名

役員 (2009年6月26日現在)

取締役会長 牧 誠

代表取締役社長 齊木 邦明

専務取締役 山口 英利

取締役 松尾 民男

取締役 続木 政直

取締役 中井 一

監査役 牧 博道

事業所

| | | |
|---------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 本社 | 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 | TEL.052-619-1811 FAX.052-619-1800 |
| 東京支店 | 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー | TEL.03-3523-3333 FAX.03-3523-3300 |
| 名古屋支店 | 〒460-0011 名古屋市中区大須4-11-50 カミヤビル | TEL.052-249-6600 FAX.052-249-6601 |
| 大阪支店 | 〒542-0012 大阪市中央区谷町9-1-18 アクセス谷町ビル | TEL.06-6191-1511 FAX.06-6191-1510 |
| 仙台営業所 | 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-5-22 宮城野センタービル | TEL.022-291-0311 FAX.022-298-9470 |
| 福岡営業所 | 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-9-2 YAOJセンタービル | TEL.092-477-3711 FAX.092-477-3755 |
| 札幌営業所 | 〒060-0031 札幌市中央区北一条東1-4-1 サン経成ビル | TEL.011-200-8150 FAX.011-200-8151 |
| テクニカルサービスセンター | 〒457-8570 名古屋市南区豊田3-3-5 | TEL.052-698-2455 FAX.052-698-2099 |